

観察教室

草花のしおりづくり

本の間などに挟んで作る押し花は、時間がかかり、変色も大きいことが難点でした。そこで、採取した植物を短時間で、しかもそのままの色に近い状態で保存する方法を紹介します。

本教材は、植物を保存することが可能ですので、季節による植物の成長の違いを比べることもできます。電子レンジでの乾燥にはちょっとしたコツが必要ですが、保存する方法としても有効な教材です。

準備物

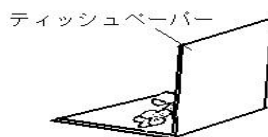
- | | |
|---------|--------------------|
| ①電子レンジ | ②タイル2枚（できるだけ大きいもの） |
| ③厚紙2枚 | ④ティッシュペーパー |
| ⑤輪ゴム | ⑥作業用手袋 |
| ⑦ピンセット | ⑧柄付き針（必要に応じて） |
| ⑨台紙 | ⑩シリカゲル（必要に応じて） |
| ⑪ラミネーター | |

作り方

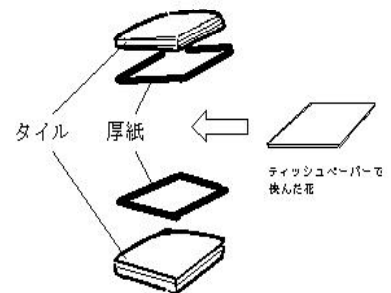
①厚みのある花は、前から見えな
い部分を取り除いてうすくしま
す。また、部位ごとに切り離し
て乾燥し、あとで組み立てると
仕上がりがきれいになります。



②ティッシュペーパーを
二つ折りにして、中に
花を挟みます。



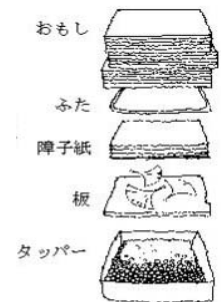
③ティッシュペーパーで挟
んだ花を2枚のタイルと
厚紙で挟みます。



- ④タイルの上から全体を輪ゴムでとめ、電子レンジで加熱します。電子レンジだけで仕上げる場合は長めに加熱します。また、この後、さらにシリカゲルで乾燥させる場合は短めに時間を調節します。(植物の大きさや部位、電子レンジの加熱能力などによって、最適な加熱時間は異なります。いろいろと試してみて、コツをつかんでください。)

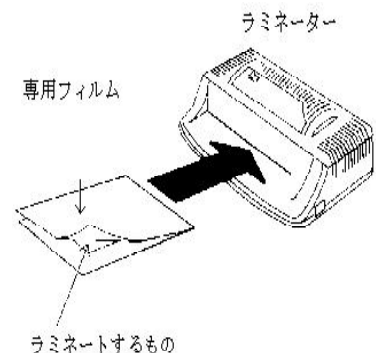


- ⑤電子レンジだけでは、なかなかうまく乾燥できないときは、さらにシリカゲルで乾燥させるようにします。タッパーの中にシリカゲル、板の順に敷き、その上に植物をのせます。さらに障子紙などをのせ、容器の上にすき間ができないようにふたをします。さらにタッパーの上におもしをして、1日程度放置します。



⑥【ラミネーターを使った封入】

ラミネーターを使うと簡単に植物を封入することができます。ラミネートフィルムは名刺サイズから、A4判まで、いろいろな大きさのものが市販されていますので、植物に合わせて使い分けることができます。また、和紙やラベルなどの台紙と一緒に封入すれば、しおりにしたり、植物標本にしたりすることができるなど、いろいろ工夫ができます。



実践上の留意点

- ・水分と紫外線が植物を変色させる大きな要因となっています。十分に乾燥させ、完全に密閉するようになります。光が当たらないような状態で保管することが大切です。

参考文献

日本放送協会出版：NHKやってみよう なんでも実験 Vol. 3